

第2回 糸魚川市教育委員会定例会会議録

- 1 日時 令和3年2月19日(金) 14時から
- 2 会場 糸魚川市役所 201.202会議室
- 3 出席委員 教 育 長 井川 賢一
教育長職務代理 永野 雅美
委 員 齋本 修一
委 員 谷口 一之
委 員 塚田 京子
- 4 欠席委員 なし
- 5 委員以外の出席者
教育次長 磯野 茂
こども課 課 長 磯野 豊 課長補佐 室橋 淳次
係 長 関澤 仁
こども教育課 課 長 富永 浩文 参 事 小野 聡
係 長 川原 隆行
生涯学習課 課 長 穂苅 真 課長補佐 磯貝 恭子
文化振興課 課 長 伊藤章一郎 課長補佐 伊藤 伸一
博物館 館 長 竹之内 耕
市民会館 係 長 榊 正喜
書記 こども課主査 佐藤 恵美
- 6 報 告
報告第 4号 学校給食における異物混入について
報告第 5号 学校給食費の改定について
報告第 6号 糸魚川市立学校共通評価項目（後期）について
報告第 7号 各課・機関所管事項について

7 付議案件

- 議案第 5号 糸魚川市立学校施設使用条例の一部を改正する条例の制定に関する意見の申出について
- 議案第 6号 糸魚川市社会体育施設条例の一部を改正する条例の制定に関する意見の申出について
- 議案第 7号 令和2年度糸魚川市一般会計教育費等補正予算(第11号)に関する意見の申出について
- 議案第 8号 令和3年度糸魚川市一般会計教育費等予算に関する意見の申出について
- 議案第 9号 糸魚川市教育委員会事務局職員を糸魚川市選挙管理委員会書記に併任することへの同意について
- 議案第 10号 教職員の人事異動について

8 会議録署名委員の指名 3番 谷口委員

9 傍聴者 1人

教育長

これより第2回教育委員会定例会を開会する。

報告第4号学校給食における異物混入について、事務局の説明を求める。

こども課長

(資料に基づいて説明)

教育長

今ほどの説明について、ご質疑はないか。

靄本委員

被害報告があったのは何年生であったか。また、食器返却時に担任ではなく栄養教諭へ報告しているが、児童・生徒へ異物混入時の対応指導はどうなっているか。

こども課長補佐

被害報告の児童は糸魚川小学校4年生で、食器を返却する際、そこに居合わせた栄養教諭に報告したものであり、担任には報告しなかった。

こども教育課長

学校では、年度初めの給食開始時に、対応も含めたマニュアルがあり、栄養教諭や給食主任から職員全体に共通理解が図られている。異物混入があった場合、担任または身近な職員に報告するよう指導

している。今回も、気づいた時点で報告できればよかったが、その場の状況や子どもの性格で言えない部分もあったかもしれない。また個別に検証し、再発防止に努めるよう指導していく。

教育長	報告第5号学校給食費の改定について、事務局の説明を求める。
こども課長	(資料に基づいて説明)
教育長	今ほどの説明について、ご質疑はないか。
靄本委員	小学校、中学校それぞれで給食単価が統一されることはよいことだ。今後も給食費について、保護者と定期的に意見交換を行い、見直し改善する機会を設けてほしい。
こども課長	今後は、給食費だけでなく、他のことについても保護者と意見交換できる場を検討していきたい。
谷口委員	各学校での負担が大きかった給食会計は、市教育委員会での対応となるとのことだが、取組みの見通しを教えてください。
こども課長	現在の給食費は、保護者が学校へ納め、学校が集めたものは、市の会計に入れている。令和4年度から、市が保護者へ学校給食費を請求し、直接、市へ納めてもらう完全公会計化を目指し、学校と調整している。
	全国的にも完全公会計化している市町村は少なく、また、市の負担も増えるがしっかり対応していく。また、激変緩和のため、今回は、一定程度、市が負担するが、消費した食材分実費は、保護者から納付いただく。単価統一に向け調整していきたい。
教育長	報告第6号糸魚川市立学校共通評価項目(後期)について、事務局の説明を求める。
こども教育課参事	(資料に基づいて説明)
教育長	今ほどの説明について、ご質疑はないか。
永野委員	「授業がわかる」の項目について、中学校で「はっきりイイエ」の急増が心配である。学年後半の授業となれば、難しい部分も増えるが、それを確実にするテスト等の仕方も重要となる。理解していても、テストの仕方で、学校差が出てしまう。1日で5教科すべてのテストを実施する学校もあれば、数日に分けて実施する学校もある。1日で実施する場合、膨大な学習が一度に必要であり、諦める子どもも増える。勉強の積み重ねが途切れてしまうため、定期テストのあり方を考えることで、改善される部分もある。各学校のよい部分を共有できるよう連携をお願いしたい。
こども教育課参事	否定的な回答をした子どもの理由を各学校で考え、対応する。また、教育委員会事務局からも声掛けしていく。
靄本委員	評価結果は指導改善のためのデータとなる。子どもがどんな心理状況での結果であるか、内面を丁寧に分析する必要がある。学校全

体で、これまでの指導や支援の改善、意識改革に取り組んでいかなければ、改善しない。課題の改善も3学期中または新年度スタートと同時に取り組んでほしい。

こども教育課参事
羈本委員

評価結果を授業改善に繋げていけるよう指導していきたい。

小学校は、ある程度肯定的な高い評価が続いている。中学校でも良い方向で推移していたが、ここで少し落ち込みがあった。その改善策として、中学校で取り組むことを小学校とも情報共有し、小学校から取り組めるよう連携してほしい。

こども教育課長

中学校区毎に独自の評価項目も設定しており、その結果も保健、学力、生活指導等の分野ごとに分析しながら、各学校で課題解決に取り組んでいる。コロナ禍や休校で、行事や部活動の縮小や中止による子どもの心の揺れに寄り添うことに神経を使い、なかなか授業改善までに至らない実情があると聞いている。課題改善についても、取り組みを促していきたい。

教育長

報告第7号各課機関所管事項について、事務局の説明を求める。

(資料に基づいて説明)

こども課 所管事項報告

こども教育課 所管事項報告

生涯学習課 所管事項報告

文化振興課 所管事項報告

図書館 所管事項報告

博物館 所管事項報告

市民会館 所管事項報告

教育長
塚田委員

今ほどの説明について、ご質疑はないか。

教育懇談会で見たキャリアフェスティバルの紹介動画がすばらしかった。子どもたちが真剣に聞く様子や、企業が熱心に話をする様子が見られ、当日の感動を思い出し、胸が熱くなった。

ぜひ、参加した3年生も振り返りで、別学年の生徒は今後に向けて、見る機会を作してほしい。また、可能であれば、生徒だけでなく、地域や企業にも紹介してほしい。

こども課長補佐

生徒の顔がはっきりと映っているため一般の公開は難しい。関係者向けに対応は可能であるが、次年度以降、検討していきたい。

羈本委員

糸魚川市の教育課題の解決に向け、内容と実績を重ねてきた第21回教育懇談会が終了した。オンライン講演の中で北陸大学の藤岡教授からお互いに信じ認め合う「相互承認」を目指し、生徒や教員、地域や保護者とトライアングル関係を作るために何が必要か問いかけがあった。小中学校では、その土台ができてきているが、さらにレベルアップの努力が必要である。高等学校は、どんな取組でどの

機会にどう関わり、信頼関係を築くか。高等学校の魅力化が、地域活性化の大きなメリットであることをお話いただいた。教育懇談会の内容を整理し、今後の具体的なプランを提供してほしい。また、子ども一貫教育基本計画の「協働」を高等学校にも入れ込んでほしい。

こども教育課参事

今回の教育懇談会は、コロナ禍で、人数や時間の制約もあったが、アンケート結果では、全体的に良い評価であった。意見等は集約し、次年度に向け、取り組む。

鶴本委員

毎年、報告書は、公開されているか。

こども教育課長

報告書は一般向けに周知していないが、学校関係機関や参加者等には配付している。

塚田委員

来年度の高校入試倍率が新聞に掲載されていた。糸魚川市内高校の倍率の落ち込みに危機を感じた。すぐにでも藤岡教授の話を実践しなければならない。現実を知り、地域と話す機会も増やすべきである。先日の白嶺高校の地域の声を聴く会はその機会であったと思うが、そこではどのような意見が出たのか。

こども課長補佐

地域の声を聴く会は、昨年度まで3校合同で開催されていたが、今年度はコロナ禍で、学校ごとの開催となり、白嶺高校は学校評議員会に合わせ開催した。防災フォーラム等の活動のほかに、今年度は建設業協会から協力をもらうなど、これまでの活動等についてご意見いただいた。

塚田委員

このような場面で、藤岡教授の話を話題にし、地域も学校もできるところから、一緒に糸魚川市を盛り上げていきたい。

教育長

委託している調査の報告書は、どのように活用していくのか。

こども課長

調査は、中学生のニーズや現高校での学びの形態、地域や様々な職種の企業からヒアリングを行い、高校による経済効果等を含んで調査し、3月末に完成予定である。調査結果を基に、何をするか考えていかなければいけない。また、藤岡教授については、来年度も継続し、いろんな場面で話をしてもらいたい。そこに地域も巻き込んでいきたい。

谷口委員

白嶺防災フォーラムについて、県外4校がオンラインで参加し、熱心に防災授業を実施する学校に、白嶺高校の生徒も刺激を受けた。先日、糸魚川ジオパーク協議会が2021年度の防災教育チャレンジプランに取り組む掲載があった。防災は小さい頃からの積み重ねが大事である。ぜひ、小学校、中学校はもちろん幼稚園、保育園から、地域や行政も含めて参加し、できるところから取り組んでほしい。各学校で防災教育が実施されているが、ジオパークの自然の豊かさは、逆に災害の多さでもあり、市全体で防災教育に取り組んでほしい。

博物館長

ジオパーク協議会の焼山の活動に白嶺高校から参加希望があっ

	た。地元や山の会の関係者と生徒が活動に参加できる仕組みを相談し、実現していきたい。
谷口委員	災害時、大人は自分の経験でしか動けない。子どもは防災教育で学びを生かせる。子どもの経験が大人になっても生きるため、小さい頃からの防災教育を進めてほしい。
永野委員	糸魚川市の教育活動に興味を持たない保護者に、どう興味をもたせ、これからの発展に関わらせるか。小学校や中学校はもちろん、幼稚園や保育園の保護者からも、高校を考えてもらえたらいい。高校に対する新しいイメージを持つ若い保護者へ、アンケート調査をしてもよいのではないか。
こども教育課長	教育懇談会は、ここ数年、キャリア教育の部分がクローズアップされ、多種多様な方から参加いただいている。これまで、中学校や高校に関わる内容が多かったが、小さい子どもの保護者を対象とする機会を増やしたい。0歳から18歳を見据える中で、満遍なく一貫教育を普及するためには、大事な視点である。
靄本委員	総合型地域スポーツクラブの勉強会は、初回が始まり1年近く経った。関係団体等に説明しながら、糸魚川市の総合型地域スポーツクラブの設立に向け取り組んできたが、進捗状況と次年度の展望について、情報提供いただきたい。
生涯学習課長	コロナ禍もあり、今年度は予定していた説明会もできなかったため、令和3年度も引き続き周知を図りながら、事業を実施し、委員会等を立ち上げ、設立に向け進めていきたい。今年度から水嶋信一先生に、計画づくりや説明会に携わってもらい、来年度もさらに実践に向け準備してもらおう。
靄本委員	コロナ禍で、中学生や高校生のスポーツ大会等が中止となり、大会等を目標に頑張ってきた生徒たちのチャレンジ精神やパワーを発揮する場面がない1年であった。地域のスポーツクラブや教室を含めて、活躍の場を期待する。学校も地域の力を求めている。地域全体で、子どもたちのスポーツを伸ばす仕組みが、地域総合型スポーツクラブである。できるだけ早く設立してほしい。
教育長 委員	ほかにご意見はないか。 (「なし」の声あり。)
教育長	付議案件に係る会議の進行についてお諮りする。 議案第7号と議案第8号については、予算に係る案件であるため、また、議案第9号と議案第10号については、人事に係る案件であるため非公開としたい。 これにご異議はないか。
委員 教育長	(「異議なし」の声あり。) 異議なしと認め、議案第7号から議案第10号までを非公開とする。

教育長

議案第5号糸魚川市立学校施設使用条例の一部を改正する条例の制定に関する意見の申し出について、事務局の説明を求める。

生涯学習課長

(資料に基づいて説明)

教育長

今ほどの説明について、ご質疑はないか。

委員

(「なし」の声あり。)

教育長

ご質疑なしと認め採決に入る。議案第5号について、ご異議はないか。

委員

(「異議なし」の声あり。)

教育長

異議なしと認め、承認する。

原案のとおり承認

教育長

議案第6号糸魚川市社会体育施設条例の一部を改正する条例の制定に関する意見の申し出について、事務局の説明を求める。

生涯学習課長

(資料に基づいて説明)

教育長

今ほどの説明について、ご質疑はないか。

委員

(「なし」の声あり。)

教育長

ご質疑なしと認め採決に入る。議案第6号について、ご異議はないか。

委員

(「異議なし」の声あり。)

教育長

異議なしと認め、承認する。

原案のとおり承認

教育次長

次回教育委員会定例会開催日

令和3年3月23日(火)午後2時から

その他 特になし

これより非公開とする。

教育長

議案第7号 **原案のとおり承認**

議案第8号 **原案のとおり承認**

議案第9号 **原案のとおり承認**

議案第10号 **原案のとおり承認**

これより公開とする。

教育長

以上で第2回教育委員会定例会を閉会する。

16:03 終了